

# きゅうしゅう

NO.64



写真：多用途支援艦「げんかい」（提供：海上自衛隊佐伯基地分遣隊）

## 目次 CONTENTS

1. 部隊紹介：海上自衛隊 佐伯基地分遣隊
2. 自治体紹介：大分県 佐伯市
3. 業務紹介：管理部 業務課
4. インフォメーション：「令和5年度在日米軍従業員 永年勤続者ほか」



防衛省と地域社会との協力を  
を象徴するエンブレム

九州防衛局 Kyushu Defense Bureau

<https://www.mod.go.jp/rdb/kyushu/>

編集・発行 九州防衛局 総務部 福岡市博多区博多駅東2丁目10-7 福岡第2合同庁舎 TEL092-483-8811



# 1. 部隊紹介



## 海上自衛隊佐伯基地分遣隊紹介



### 分遣隊長挨拶



佐伯基地分遣隊長 (第31代)  
2等海佐 舍川 武  
(とねがわ たけし)

九州防衛局広報誌「きゅうしゅう」をご覧の皆様、海上自衛隊佐伯基地分遣隊長の舍川です。

佐伯基地分遣隊は、海上自衛隊呉警備隊(広島県呉市)の隷下であり、大分県南部の豊後水道に面する佐伯市に所在する、東九州唯一の海上自衛隊の部隊です。

昭和9年に海軍航空隊が当地に設置されて以来、海軍と佐伯は密接な関係にありました。真珠湾攻撃に際しては、目の前に広がる佐伯湾にて大規模な訓練が行われ、山本五十六連合艦隊司令官は、ここ佐伯湾に集結した機動部隊に対し空母「赤城」の艦上で訓示を行っています。

終戦後、佐伯市の管理下で一時的に学校として使用されていた海軍航空隊司令部庁舎を使用し、昭和37年3月、佐伯基地分遣隊が発足しました。また、平成24年には当時の面影を残した新しい庁舎が完成し、令和4年には開隊60周年を迎えることができました。

わが部隊の主な業務は、多用途支援艦「げんかい」による訓練支援、護衛艦等への水船による真水搭載支援、交通船・車両による人員輸送支援、宿泊・給食支援等です。

佐伯基地分遣隊では、地域の皆様との交流の一環として、「サマーフェスタinさいき」というイベントを開催しています。その他にも、佐伯市主催の「さいき桜まつり」への参加や、中学・高校生を対象とした職場体験の受け入れなども行っています。今後とも、皆様に信頼していただける部隊となれるよう努力してまいります。

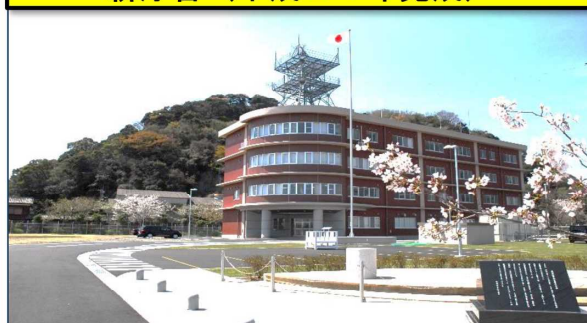
### 分遣隊の沿革

昭和 9年 2月	佐伯海軍航空隊開隊
昭和14年 11月	佐伯防備隊開隊
昭和16年 11月	佐伯湾にて真珠湾攻撃訓練を実施
昭和16年 12月	太平洋戦争開戦
昭和20年 8月	終戦(佐伯海軍航空隊廃止)
昭和22年 7月	元海軍航空隊庁舎を鶴谷中学校として使用
昭和29年 7月	海上自衛隊発足 鶴谷中学校移転
昭和37年 3月	佐伯基地分遣隊開隊
平成20年 2月	多用途支援艦「げんかい」編入
平成24年 2月	本部新庁舎完成
令和 4年 3月	開隊60周年

旧庁舎(海軍航空隊)



新庁舎(平成24年完成)





# 部隊の活動状況



サマーフェスタ  
(体験航海：YDT04)



サマーフェスタ  
(警備犬訓練展示)



真水搭載支援  
(水船から潜水艦へ給水)



海上保安庁と合同防災訓練



航空機見学  
(MCH-101)



さいき桜まつり  
(大名行列に参加)

## 佐伯基地分遣隊の全景



水船 (YW26)



多用途支援艦「げんかい」



## 2. 自治体紹介

# 大分県佐伯市

### 『地域が輝く「佐伯がいちばん」の 人・まちづくり』

#### ○市長あいさつ

九州一の面積を誇る佐伯市は、「祖母傾国定公園」の一角をなす緑豊かな山々と、「日豊海岸国定公園」に指定される約270kmにも及ぶ美しいリアス海岸の続く、自然豊かなまちです。

慶長6年(1601年)に佐伯の地に始まった毛利高政公の藩政は、自然との共生を重視し、「佐伯の殿様、浦でもつ」と評されました。これは、藩の財政を豊かな海の恵みが支えたことを意味します。以来、佐伯市民に脈々と受け継がれ、現在の施策「さいきオーガニックシティ」に至っています。

今後、将来にわたり持続可能なまちを創るため、「さいきオーガニックシティ(人と自然が共生する持続可能な循環型共生社会)」の実現に向け、「経済・社会・環境」の3つの側面に配慮し、その全てが調和した取組(佐伯版SDGs)を推進します。

基本政策として「さいき7つの創生」を掲げ、自然・生活環境、生活基盤、保健医療福祉、教育文化、産業振興、まちづくり、地域活性化の7つの分野において各施策を引き続き推進します。「さいき7つの創生」を政策の柱とし、それらを推進していく「佐伯人(さいきびと)」を育成しながら、市民や企業の皆様と連携し、「さいきオーガニックシティ」の実現に取り組むことで、地域が輝く「佐伯がいちばん」の人・まちづくりを進めています。

※西日本では最大級の本匠の大水車



佐伯市長 田中利明

#### ○海上自衛隊佐伯基地分遣隊との関わり

佐伯市には、海上自衛隊佐伯基地分遣隊があり、毎年春に開催される「さいき桜まつり」にあわせて、海上自衛隊艦艇の入港、一般公開を行っていただいています。

また、毎年海の日には、「サマーフェスタ in さいき」を基地内で開催し、自衛隊を身近に感じることでできる一日を提供していただいています。

今年11月に実施した大分県総合防災訓練では、海上自衛隊佐伯基地分遣隊及び陸上自衛隊湯布院駐屯地第301多連装ロケット中隊に訓練を実施していただくなど、当市の防災対策にも御尽力をいただいています。



基地は、津波避難ビルに指定

# 佐伯の殿様浦でもつ 浦の恵みは山でもつ

山・川・海の恵みを楽しむ観光プロジェクト「浦100」始動！！  
～100年後も人の営みが豊かな浦を残すための100の観光アクション～

1623年、佐伯藩は、魚類の生息を守るため森林資源を残す触書を出し、SDGsの先駆けともいえる取組を行っていました。

その江戸時代から続く山・川・海の循環によって守られてきた佐伯の自然について観光の視点で考え、この環境を100年先も保つことを目標とし、山・川・海の自然の循環、恵みを体感できる観光プログラムの造成に取り組んでいます。



↑100年後も残したい佐伯をイメージした新しい大漁旗デザイン。この人の営みを守るため、観光面での取組を推進していきます。

### ■観光アクションとは？

- ①情報発信／対外的な認知拡大
- ②地域連携／佐伯市民への認知拡大
- ③誘客事業／交流・学び・収益活動

### ■パートナー・観光アクション認定事業者との連携



食のまち「さいき」の魅力を、自慢の生鮮魚介類や肉・野菜などのふるさと納税のお礼の品を通じて皆様にお届けしています。



**緋扇貝セット**  
大分県の最南端蒲江の屋形島で育った緋扇(ヒオウギ)貝です。  
炭火焼やバター炒めなどさまざまな方法で調理ができますが、酒蒸しがおすすです。



**干物大満足 BOX**  
鮮度の高い魚をそのままに、素材本来のおいしさを活かしています。  
天然海水や自然塩といった厳選の素材と職人の手仕事によって、旨味が凝縮され、ふっくらとした身を作り上げています。

### 大分麦焼酎



ぶんど銘醸厳選!  
**飲み比べセット** 5本 1本:300ml

**麦焼酎飲み比べセット**  
地元の水、原料となる農産物、気候風土を生かし蔵人の手によって生み出される酒を、蒸留方式等によって異なる味を飲み比べることができます。  
新しい発見もあり、大いに楽しめるお品となっています。



**大分県産豚肉4種**  
バラエティーパック  
お肉は鮮度が命。鮮度維持するため、3Dショックフリーザーにより、ドリップがほとんど発生せず、色鮮やかな状態のお肉をお届けします。

### 3. 業務紹介

#### 管理部業務課（事故補償係）

九州防衛局では、米軍等の行為によって被害を受けた方々への損害賠償等の業務を行っています。

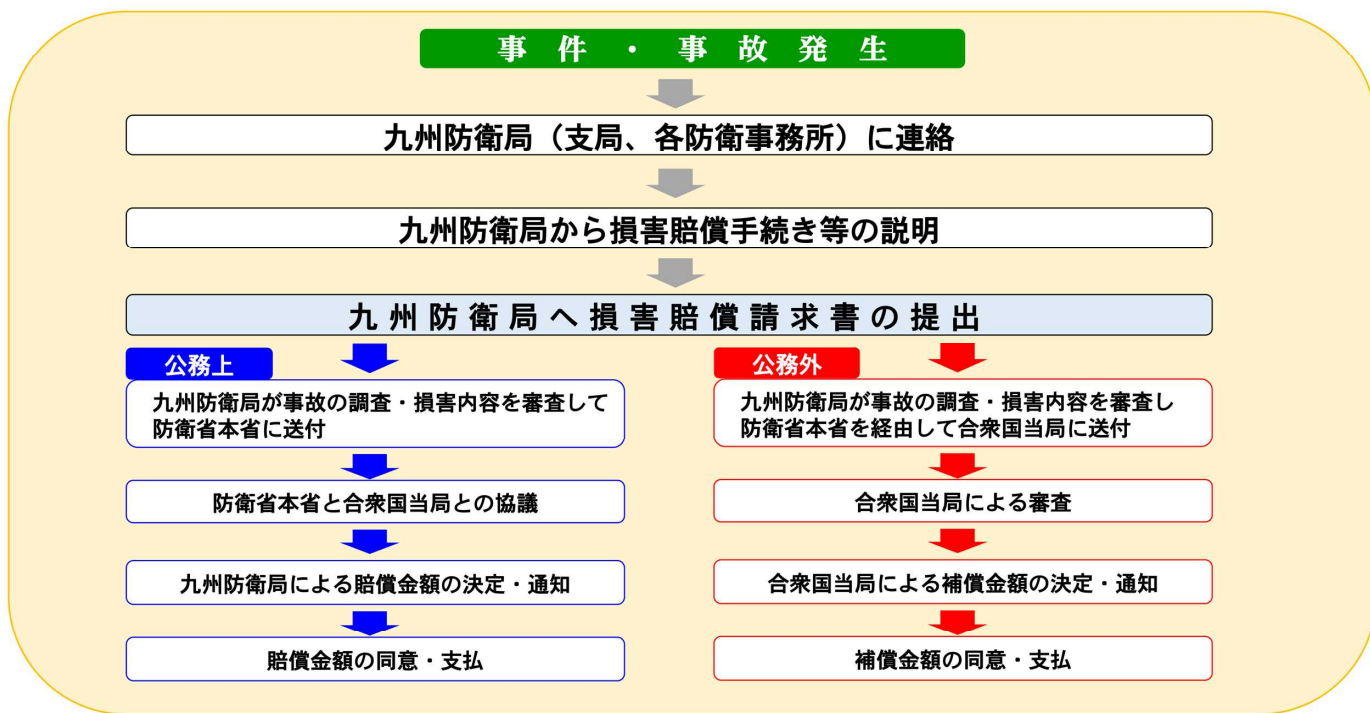
日本国に駐留している米軍人・軍属の行為によって、身体及び財産に被害を受けた場合には、受けた損害について「日本国とアメリカ合衆国との間の相互協力及び安全保障条約第六条に基づく施設及び区域並びに日本国における合衆国軍隊の地位に関する協定」第18条の規定に基づき、損害賠償等を請求することができます。

- 米軍等の行為が**公務上**の場合（地位協定第18条第5項）
  - ・損害賠償金を請求できる期間は、事故が発生したときから**3年間**です。
  - ・被害を受けた損害額を**日本国政府**が支払います。



- 米軍等の行為が**公務外**の場合（地位協定第18条第6項）
  - ・補償金を請求できる期間は、事故が発生したときから**2年間**です。
  - ・原則として、交通事故の場合における保険解決のように、直接加害者との間で示談解決することになりますが、**示談により解決が困難な場合**、加害者に代わって**合衆国政府**が補償金の額を決定して支払います。
- ※ 米軍人・軍属が運転する私有車両（Yナンバー等）との交通事故の場合は、相手が加入している任意自動車保険会社等へお問い合わせ下さい。

#### 米軍等の行為に係る損害賠償の主な流れ



連絡先	九州防衛局	業務課事故補償係	福岡市博多区博多駅東2-10-7	092-483-8821
		当直室	(夜間・土日・祝日の連絡先)	092-483-8832
	熊本防衛支局	業務課	熊本市東区東町1-1-11	096-368-2172
	佐世保防衛事務所	業務課	佐世保市木場田町2-19	0956-23-3157
	別府防衛事務所	業務係	別府市大字別府3051-1	0977-21-0215
	宮崎防衛事務所	業務係	宮崎市江平東2-6-35	0985-55-0277

## 4. インフォメーション

### 令和5年度在日米軍従業員永年勤続者

令和5年10月17日(火)、米海軍佐世保基地内の「ハーバービュークラブ」において、令和5年度在日米軍従業員永年勤続者表彰式が行われました。

本年度は、ご来賓として長崎県を始め佐世保市及び西海市等の関係各所の代表者の方々や永年勤続者の所属する職場の上司のご臨席を賜り、また、永年勤続者のご家族の参列の下、開催することが出来ました。

この表彰式は、佐世保地区に所在する在日米軍の各施設に永きにわたり勤務された従業員154名に対し、その労をねぎらい、併せて労働意欲及び作業能率の向上を図ることを目的として、日米共催で実施されたものです。

表彰式は、日米両国の国歌吹奏から始まり、主催者挨拶として日本側を代表して江原康雄九州防衛局長から「従業員の皆様方の御労苦と御努力に対し、心から敬意を表すとともに、苦楽を共にしてこられた職場、ご家族の方々の温かいご支援に深く感謝いたします。これからも日々の活動や交流を通じ、日米両国の架け橋として、更にご尽力賜りますようお願い申し上げます。」と述べられ、また、米側を代表してマイケル・フォンテン米海軍佐世保基地司令官から「佐世保基地は2年連続で、日本一の米海軍基地に選ばれ、評判の高い基地です。この名声は、在日米軍で働く従業員である皆さんのプロ意識と献身的なサービスのおかげです。佐世保基地の指揮を執るようになってまだ3週間もたっていませんが、MLCとIHAの労働力が艦隊に卓越した支援を提供していることは既に明らかです。」との式辞が述べられました。

引き続き、勤続年数40年、30年、20年、10年の各代表者に表彰状と記念品が授与され、最後に被表彰者を代表して、米海軍施設技術部隊佐世保財務総務課の古川保氏が、「私たちが、永きにわたり勤務出来たことは日米両国の関係者等のご協力によるものです。これからも困難を乗り越え、良好な日米関係を維持するため、一層努力する所存です。」との答辞を述べられ、式典は和やかな雰囲気の中、滞りなく終了しました。



▲江原康雄九州防衛局長の式辞



▲表彰状及び記念品の授与



▲被表彰者代表の答辞



▲マイケル・フォンテン司令官と江原九州防衛局長

九州防衛局では不測の事態に対応するため、夜間・休日を問わず連絡体制を確保しております。

夜間及び休日の連絡先

電話:(092)483-8832 FAX:(092)472-1959

・平日は17時15分から翌朝8時30分まで、  
休日は終日。

## 令和3年度計画 3,900 トン型護衛艦 命名・進水式 艦名「によど」

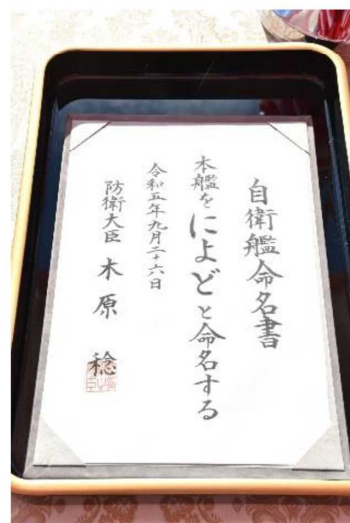
令和5年9月26日(火)、三菱重工業(株)長崎造船所にて、九州防衛局長崎防衛支局が監督・検査を担当している令和3年度計画 3,900 トン型護衛艦「もがみ」型7番艦の命名・進水式が執り行われました。

式典当日は増田防衛事務次官の出席を得て、俵佐世保地方総監執行のもと酒井海上幕僚長、江原九州防衛局長、板谷長崎防衛支局長をはじめ防衛省・自衛隊及び三菱重工業株式会社の関係者が見守る中、粛々と行われました。

命名式では、海上自衛隊佐世保音楽隊による国歌吹奏に引き続き、増田防衛事務次官が防衛大臣の自衛艦命名書を読み上げ、「によど」と命名されました。艦名は愛媛県及び高知県を流れる一級河川の仁淀川に由来しており、海上自衛隊では既に除籍艦となっている「ちくご」型護衛艦の7番艦「によど」に続いて2代目になります。

命名式に引き続き、長崎造船所立神艦船製造部長の進水準備完了の合図により、増田防衛事務次官が斧を振り下ろし支綱の切断を行いました。くす玉が割れ 佐世保音楽隊による軍艦マーチが奏でられ、号砲とともに色とりどりの紙テープや風船が舞うなか「によど」は進水しました。

「によど」はこれから本格的な装工事及び海上での確認運転等を実施した後、令和6年度中に就役する予定です。九州防衛局長崎防衛支局では引き続き、監督・検査に万全を期して参ります。



おしらせ

## 日米交流演奏会2024

九州防衛局では、米海軍の基地が所在する佐世保市等の市民の皆様と、米海軍佐世保基地の米軍人の家族の皆様とが、より大きな信頼関係を構築することを目的として、「日米交流事業」を開催しております。今年度の日米交流事業について、以下のとおり開催予定です。

日時 令和6年3月24日(日)13:30～(予定)

開催場所 アルカスSASEBO 大ホール

出演団体(予定) 九州文化学園高等学校、E.J.キングミドル/ハイスクール、聖和女子学院高等学校、中学生選抜バンド

※ 詳細は、後日、九州防衛局HP等でお知らせします。



日米交流演奏会2023(昨年度)の様子